

表 1 都道府県歯における役員総数と女性役員数

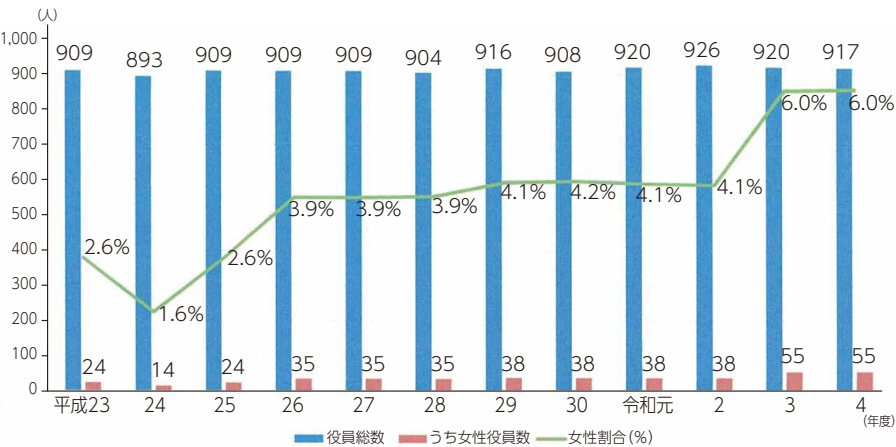
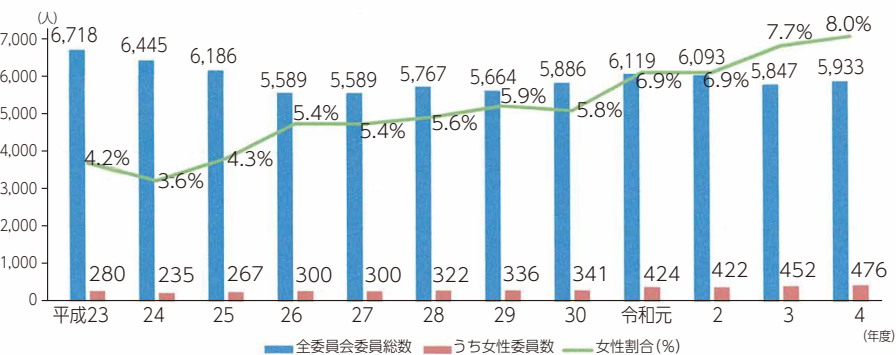


表 2 都道府県歯における委員会委員総数と女性委員数



女性役員は増加傾向

令和4年度女性の政策・方針決定参画状況調査

日歯はこのほど、内閣府男女共同参画局の依頼を受けて、都道府県歯を対象に「令和4年度女性の政策・方針決定参画状況調査」を行った。調査は、第5次男女共同参画基本計画等に基づき実施される「政策・方針決定過程への女性の参画状況に関する調べ」に併せて、日歯が都道府県歯における女性歯科医師の活動活躍支援や男女共同参画推進の取り組み状況を把握し、今後の支援事業に役立てることを目的に平成23年から毎年実施している。

調査結果によると、歯科医師会における役員の全国総数に占める女性の割合は約6%で、平成26年度から令和2年度の3〜4%台から増加傾向となり（表1）、委員の全国総数に占める女性の割合も8%に増えた（表2）。また、女性委員が在籍する委員会の割合も44.3%と増加している。平成23・24年度日歯男女共同参画推進検討委員会の

提言の一つに「歯科医師会における女性会員の役員・委員への登用」があり、それを受けて若手歯科医師活躍推進チームでは、そのために必要な環境整備や意識改革を歯科医師会全体の共通課題として認識し、継続的に取り組んでいく必要性があるとしている。

女性歯科医師活動活躍支援や男女共同参画推進状況は、研修会や講習会、復職支援、託児支援事業等に取り組んでいるものの、全国総数は減少傾向となった。コロナ禍で各種事業が推進できなかったのではないかと考えられるが、そうした状況下でも、歯科医師バンク事業や代診システムの稼働、女性歯科医師相談窓口の設置、アンケート調査や未入会者を含めた懇談会の実施、会外組織であった女性歯科医師の会が女性活動支援部として正式に発足するなどさまざまな事業が展開されていた。

また、若い世代の歯科医師の入会率が全国的に低迷しているのを踏まえて、「若い世代の歯科医師を対象とした活動活躍支援等に対する取り組み」（表3）を調べたところ、20%強の都道府県歯が取り組みを行っていることが分かった。

員に対する研修会や懇親会、若手歯科医師向けのセミナー・講演会、座談会などとなっている（表4）。一方、会内に青年部のような組織を設立して活動している歯科医師会を交えて意見交換会を開催したら参加するかとの質問に対しては、参加希望が80%近くあった（表5）。

表 3 「若い世代の歯科医師を対象とした活動活躍支援」等への取り組み

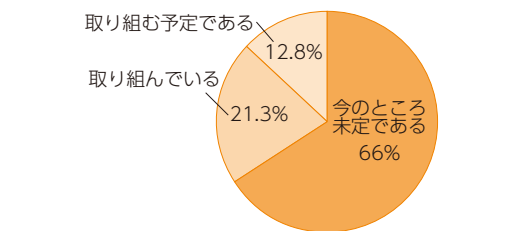


表 5 会内に青年部のような組織を設立して活動している歯科医師会を交えて意見交換会を開催したら参加するか

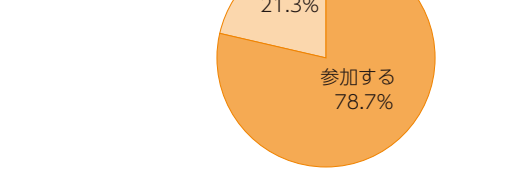


表 4 都道府県歯の主な取り組み内容

- 新入会員対象とした研修会・懇親会
- 勤務医対象とした研修会
- 45 歳以下会員を対象とした座談会・懇親会（子ども参加 OK）
- 青年部、青年歯科医師の会の活動（歯科医師会により名称は異なる）
 - ・セミナー：学術講演会 有料の学術セミナー、ハンズオンセミナー、経営セミナー、SDGs 講演会、投資セミナー（証券会社とのタイアップセミナー）
 - ・交流活性化事業：他県歯の青年部または青年歯科医師の会との協議会、多職種交流会、婚活パーティー、『歯医者さん体験』（講演と実習）